

平成 26 年度 第 9 回 理事会議事録

日時：平成 26 年 12 月 16 日（火）19：00～20：10

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、藤田、北山、
古屋、笠井、井村

(部長) 鈴木、大内、加納、

欠席：(理事) 青柳、(部長) 菅谷

書記：伊東・木村

会員管理情報（12 月 16 日現在）

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 120 会員数 748 休会 35 名

I. 審議事項（全 3 題）

1. サポーターズ等送付先の見直しについて

(鈴木総務部長)

継続 送り先の各種団体の添付資料参照。県レベルの組織としての患者会でリハビリが必要な家族会に送ればよいのではとの意見が出された。有泉理事と相談の上、総務で整理して変更していく。大学へは学長宛に変更する。

2. 緊急連絡網の運用における申し送り事項について

(鈴木総務部長)

承認 現状は規定にはせず、申し送り事項として運用していく。運用しながら随時修正していく方向で。ホームページには使用目的と問い合わせ先を掲載する。

3. 3 士会合同学術大会の残金の使用について

(小林会長)

承認 3 士会合同学術大会の収支はおおよそ 30 万円の黒字となった。その資金を次回の 3 年後の運用資金として繰り越すことで承認となる。3 士会の財務が管理していく。

II. 報告事項（全 11 題）

1. 関東甲信越ブロック理学療法学会準備委員会：進捗状況について

(高村副会長)

公開講座の講師は検討中。座長と査読者への依頼文は 1 月に発送予定。ホームページは準備中で、フェイスブックは立ち上がっている。A2 判のポスターは作成せず、各都県士会の学会へ広報局が出向しクリアファイルを配布した。会長より、関ブロ援助金が 180 万円入ることと、学会プログラム集と合わせて発行される記念誌について今後検討していくことが伝えられた。

2. 訪問理学療法委員会士学会準備委員会：第 5 回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会開催について

(藤田事務管理局长)

平成 26 年 10 月 25・26 日に開催した。参加者は全体で 67 名（PT35 名）であった。総括として昨年と比べ参加者が増加した。また実務者研修会を通して、訪問リハの質の向上と訪問リハ従事者の情報交換の場として活用できる内容の検討が必要である。会計については収入 277,665 円、支出 207,256 円、収支合計 70,409 円となった。今年度は ST 士会が担当で、来年度は PT 士会が担当である。

3. 地域支援事業等推進委員会：地域ケア会議・介護予防教室等派遣依頼について

(笠井副委員長)

12 月 10 日(木)に甲州市で個別地域ケア会議の PT 派遣依頼があり、中北ブロック担当委員の杉田先生(りほく病院)が出席した。派遣依頼の対応についての対応手順を報告した。報告資料の①～⑤までの流れについて、事務管理局の業務負担を考慮し、③を削除する意見が出されたが、基本は報告書通りの手順で行う。市町村より事務管理局を介さずに直接連絡があった場合は③の手順を省き、事務管理局へは事後報告となる。④の手順で合意がなされなかった場合は②の手順へ戻る。県士会では公文書は作成せず、市町村と病院(施設)間で公文書を作成する。

4. 地域支援事業等推進委員会公開講座部：第 2 回地域包括ケア及び介護予防推進リーダー研修会について

(笠井副委員長)

平成 27 年 2 月 21 日(土)に研修会を開催予定。地域ケア会議講義 1(90 分)を読み替えるため、「地域理学療法研修会(平成 27 年 1 月 24 日開催)」または「全国リハ協主催研修会(平成 27 年 2 月 11 日)」の参加者を今回の研修会の対象とする。今回の研修会の案内について、リハ協主催研修会の案内が出た後では遅いのではとの意見に対し、一緒に発送できるよう準備していく方向となる。

5. 表彰委員会：協会賞推薦について

(藤田事務管理局长)

協会賞成果分野において石黒先生(健康科学大学)を士会推薦していく(本人快諾済)。現在、推薦書作成中。

6. 委託事業部：山梨県立大学への講師派遣について

(古屋社会局長)

小林先生(あけぼの医療センター)を推薦した。内容は障害児者への療育における理学療法の役割・実践で OT・ST 分野にはふれずに行う。

7. 委託事業部：山梨県立介護実習普及センターへの講師派遣について

(古屋社会局長)

水上先生(訪問リハビリテーションいさわ)と市川先生(白根徳洲会病院)を推薦した。

8. スポーツ理学療法部：活動報告

(古屋社会局長)

第 56 回の勉強会が 11 月 27 日に開催された。参加者は 32 名と少なく今後内容などについて検討していきたい。次回の勉強会は平成 27 年 1 月 10 日に予定している。12 月 27 日に笛吹中央病院主催にて野球肘検診が行われる予定でスポーツ理学療法部として参加・協力する。今後継続事業となった場合は、人的時間的な負担の問題もあり県士会としてどのように関わっていくか今後検討が必要などの意見が出された。

9. 学術局：山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の報告

(北山学術局長)

12 月 6、7 日に合同学術大会が無事開催された。参加者は 615 名、二日間の延べ人数は 1065 名。PT は一日目 231 名、二日目 251 名の参加があった。

10. 企画研修部：研修会について

(井村企画局長)

例年 2 回開催されている研修会について、今年度のテーマとして一つは昨年度同様に「臨床実習」とし、講師は帝京科学大学の豊田輝先生に依頼予定。もう一つは女性の職場での活躍に注目し「ライフワークバランス」を検討している。講師は看護協会に依頼することを検討している。

11. 事業管理部：ホームページ事業委託進捗状況

(藤田事務管理局长)

依頼した情報について未提出の部局は早急に提出を願いたい。

Ⅲ. その他

1. 会長挨拶

12 月 6・7 日の 3 士会合同の学術大会において 3 協会より高い評価をいただいた。12 月 17 日はケアマネ全国研修会が桃源郷であり開会式に参加する。18 日は連盟の記念講演に参加予定。20 日は県主催の地域包括ケアの研修会にパンフレットを持って参加する。

2. 合同学術大会の決算について

(小林会長)

先日行われた合同学術大会の最終決算は 30 万円程度の黒字となった。三年後に行われる合同学術大会の運転資金として繰り越すことを了承いただきたい。

3. 次回の理事会日程について

日時 平成 27 年 1 月 27 日 (火) 19:00～

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 1 月 23 日 (金) までに審議事項および資料を事務管理局 (藤田) へ提出する。